

# 多種多様な教養・研修制度

職員一人ひとりが知識や技能を習得できるように教養や研修制度が充実しています



## サイバー



- 県学校において、サイバー事案対処能力の向上を図るため、専門的な研修を行っているほか、警察大学校では、サイバー部門に特化したサイバー警察教養部を新設して捜査員等を対象とした実践的な研修等を行っています。
- サイバー特別捜査部（関東管区警察局）では、全国都道府県警察からサイバー分野の知見を持つ人材を登用して、重大サイバー事案対処に当たっています。
- 警察では、ICPO（国際刑事警察機構）が提供する各国の法務執行機関を対象としたサイバー犯罪対策等に関する研修に参加するなど、サイバー空間における脅威に関する情報の共有、国際共助に関する連携強化を行っています。

## 語学研修/海外勤務 財務（金融）

- 警察大学校国際警察センターにおいて、言語別の語学研修や国際捜査等に関する研修を行っています。また、研修で培った語学力を生かし、海外で勤務することもあります。
- 財務捜査研修センターでは、財務に関する専門的な知識や技術を必要とする学術の研修を行っています。



## - 職務に応じて - 取得可能な資格

- ・大型自動車運転免許
- ・大型第二種免許等
- ・甲種危険物取扱者
- ・情報安全確保支援士
- ・潜水士
- ・小型船舶操縦士（1級）
- ・小型建設機械取扱い資格
- ・X線作業主任者
- ・X線技師
- ・クレーン作業
- ・玉掛け作業
- ・衛生管理者（二種）など
- ・整地運搬積み込み及び掘削用機械解体用機械



## - 資格取得 - （助成金）

- ・各種外国語検定
- ・情報処理技術者
- ・ITパスポート
- ・簿記 1級
- ・危険物取扱者 甲・乙
- ・火薬類取扱保安責任者 甲・乙
- ・毒物劇物取扱者
- ・大型自動車運転免許
- ・玉掛技能免許
- ・宅地建物取引士
- ・潜水士
- ・手話通訳士
- ・防犯設備士
- ・社会保険労務士
- ・FP技能士 など

